

佐々木享名誉教授 業績目録

(1996年4月－2003年3月)

著作目録「佐々木享著作目録」(『技術教育学研究』第10号、1996年3月、89－120頁)には、「技術科では何を学ばせるか」『職業教育』第10巻第2号(1959年10月)から、編著『日本の教育課題8 普通教育と職業教育』(東京法令出版刊、1996年1月、全604頁)までのすべての著作657点の目録が、発表された年代順に掲載されている。

[1996年3月の著作目録に脱落したものの追加]

1. 論文 「技術教育の運動と研究はここまできている」
(『作文と教育』1964年12月、96～103頁)
2. 論文 「高校の多様化」と高校入試の『改革』
(全国高校生活指導研究協議会機関誌『後期中等教育をすべての者に』第26号、1967年11月、6～14頁)
3. 論文 「大学入試制度の変遷」
(日本高等学校教職員組合編『民主的高校教育シンポジウムの記録(第14回、第15回)』(1989年12月、1～9頁)(1987年10月12～13日に東京で開催された日本高等学校教職員組合主催第14回民主的高校教育シンポジウムにおける特別報告)
4. 論文 「コンピュータと教育」
(『新英語教育』第289、1993年9月号、12～14頁)
5. エッセイ 「福島先生と教育研究全国集会」
(全国農業教育研究会編『福島要一先生追悼集――焦ってはならない そして怠ってはならない――福島要一先生をしのぶ』1995年11月、182～196頁)

[1996年3月の「佐々木享著作目録」以後の著作]

以下には、『技術教育学研究』第10号(1996年3月)の「佐々木享著作目録」以後の著作の目録を掲げる。分類の原則は多分に恣意的なものである。

目録など

1. 著作目録 「佐々木享著作目録」
(『技術教育学研究』第10号、1996年3月、89～120頁)
2. 著作目録 「佐々木享教授年譜・主要著作目録」
(『名古屋大学教育学部紀要－教育学科』第42巻第2号、1996年3月、17～34頁)
3. 資料紹介 「高等学校の沿革史・記念誌の所蔵目録について」
(『中等教育史研究』第7号、1999年4月、41～44頁)

4. 随 想 「中等教育史誌コレクションについて」
(名古屋大学附属図書館『館燈』No.145、2002年11月15日、4～5頁)

総説など

1. 論 文 「中等教育の一環としての高校職業教育」
(『名古屋大学教育学部紀要－教育学科』第42巻第2号、1996年3月、1～16頁)
2. 論 文 「中等教育－シリーズⅢ教育研究の五十年」
(『教育』第46巻第4号＝通巻599号、1996年4月号、80～89頁)
3. 論 文 「高校職業学科の教育学の課題」
(『技術教育研究』第48号、1996年8月、1～6頁)
4. 論 文 「日本における技術・職業教育史研究の展望と課題－学校教育の分野に限定して－」
(『日本教育史研究』第17号、1998年8月、65～89頁)
5. エッセイ 『『自由研究発表要旨集録』の「発表要旨」の改善充実を」
(『教育学研究』第67巻第1号、2000年3月、162頁)
6. 事典の項目 「総説 技術・職業教育」
(久保義三・米田俊彦・駒込武・児美川孝一郎編『現代教育史事典』東京書籍、2001年12月、204～206頁)

技術・職業教育一般

1. 論 文 「中教審答申と技術・職業教育」
(『技術教育研究』第49号、1997年1月、1～5頁)
2. 論 文 「高校職業学科の選択制」
(『技術教育研究』第51号、1998年1月、37～43頁)
3. 論 文 「高校普通科における職業教育を考える」
(『月刊高校教育』1998年5月号、84～92頁、同誌1980年11月号掲載の論文の再掲載)
4. 講演記録 「中・高の学校教育はどうか変わるのか、どう変えるべきなのか」
(『あいちの子育てと教育と文化1998 あいち県民教育研究所年報第6号』1998年5月、19～24頁)
5. 論 文 「教育課程審議会の『審議のまとめ』について」
(『技術と教育』第295号、1998年7月、9～10頁)
6. 講演記録 『技術教育と職業教育の将来について』
(1998年4月25日に京都で開催された技術教育研究会全国大会に向けてのプレ集会における講演の記録、1998年8月3日発行)
7. 講演記録 「21世紀の高校教育をどうするか－教育課程審議会の答申を分析する」
(1998年11月27日に日本高等学校教職員組合主催の高校教育シンポジウムで行なった講演の記録。『季刊にいがたの教育』第57号、1999年3月、48～57頁)
8. 小 論 「実習と原則履修科目に創意工夫を」

- (『技術と教育』第304号、1999年4月、3～4頁)
9. 講演記録 「21世紀の高校教育をどうするか――教育課程審議会答申を分析する」
(日本高等学校教職員組合編『教育課程と授業改革・学校づくり――98高校教育シンポジウム報告集』1999年5月、15～28頁)
 10. 論文 「専門高校の現在」
(『教職課程』1999年10月号、36～39頁)
 11. 書評 平尾真知子著『資料にみる日本看護教育史』
(『教育学研究』第67巻第2号、2000年6月、42～43頁=222～223頁)
 12. 論文 「工業高等学校の隆盛と衰退――50年の軌跡を顧みる」
(『産業教育学研究』第30巻第2号、2000年7月、20～26頁)
 13. 論文 「農業高校における農場実習の特別会計(農場収入還元金制度)の動向――中等実業学校の実習指導の歴史について(研究ノート・その1)」
(愛知大学短期大学部『研究論集』第23号、2000年12月、1～22頁)
 14. 論文 「技術・職業教育研究の20世紀から21世紀へ」
(『技術教育研究』第57号、2001年1月、1～6頁)
 15. 論文 「戦後日本の中等後職業教育制度の枠組みの可能性――研究ノート」
(平成11～13年度科学研究費補助金(基盤研究)(C)(1)研究成果報告書『職業教育の中等後・高等教育段階への移行に関する日米比較研究』(研究代表者・横尾恒隆)、2002年3月、7～19頁)
 16. 事典の項目 「運輸通信教育」
(久保義三・米田俊彦・駒込武・児美川孝一郎編『現代教育史事典』東京書籍、2001年12月、206頁)
 17. 事典の項目 「実業教育振興委員会」
(久保義三・米田俊彦・駒込武・児美川孝一郎編『現代教育史事典』東京書籍、2001年12月、291～292頁)
 18. 事典の項目 「就職と職業指導」
(久保義三・米田俊彦・駒込武・児美川孝一郎編『現代教育史事典』東京書籍、2001年12月、292～293頁)
 19. 事典の項目 「水産教育」
(久保義三・米田俊彦・駒込武・児美川孝一郎編『現代教育史事典』東京書籍、2001年12月、295～296頁)
 20. 論文 「技術・職業教育教員養成史研究の現状と課題――研究ノート」
(平成10～13年度科学研究費補助金(基盤研究)(B)(1)研究成果報告書『技術・職業教育の教員養成における大学の役割とカリキュラムに関する比較的研究』課題番号10410067(研究代表者・田中喜美)、2002年3月、7～21頁)
 21. 書評 「公的職業資格に関する本邦初の網羅的な科学的分析――辻功『日本の公的職業資格制度の研究――歴史・現状・未来』」
(『産業教育研究』第32巻第2号、2002年7月、32～33頁)

22. 論 評 「戦時労務動員体制下の勤労青少年不良化問題の位置づけ——鳥居和代『戦時下青少年不良化対策——青少年工員の補導対策を中心に』への論評」
（『日本教育史研究』第21号、2002年8月、58～61頁）
23. 科研費の報告書 『中等職業教育における実習指導とインターンシップの史的発展に関する実証的研究』
（平成12～14年度科学研究費補助金（基盤研究(c)(2)）研究成果報告書、研究代表者佐々木享、2003年3月）

青年期の教育など

1. 書 評 「米田俊彦著『教育審議会の研究 青年学校改革』（野間教育研究所紀要第39集）」
（『教育学研究』第63巻第2号、1996年6月、49～51頁）
2. 論 文 「総合学習は共通学習たり得るか——青年期における基礎・基本学習に関連して」
（『教育』第46巻第13号＝通巻608号、1996年12月、23～30頁）
3. 論 文 「飛び入学をどうみるか」
（『高校のひろば』第24号、1997年6月10日、18～23頁）
4. 論 文 「青年期における国民共通教養』の理念——その起源と系譜」
（『技術教育研究』第52号、1998年8月、47～63頁）
5. 論 文 「青年期教育を土台からしっかりと——1999年版高校学習指導要領の特徴と問題点」
（『技術教育研究』第54号、1999年7月、1～7頁）

技術科など

1. 論 文 「中学校技術科の完全独立、高校にも必修の技術科を」
（『技術と教育』第283号、1997年7月、4～7頁）
2. 事典の項目 「技術科の特殊性」
（福田公子・間田泰弘編『重要用語300の基礎知識 家庭・技術科』2000年9月、明治図書出版、175頁）
3. 事典の項目 「技術科の本質的課題」
（福田公子・間田泰弘編『重要用語300の基礎知識 家庭・技術科』2000年9月、明治図書出版、176頁）
4. 事典の項目 「技術科の歴史的背景」
（福田公子・間田泰弘編『重要用語300の基礎知識 家庭・技術科』2000年9月、明治図書出版、178頁）

情報化など

1. 論 文 「おそれずあせらず過大評価せず」
（『エデュカス』第14号、1996年10月10日、大月書店、18～25頁）
[注]「特集—コンピュータと教育」の巻頭論文である。
2. 随 想 「教科『情報』の必修化は無用」

(『高校のひろば』第31号、1999年3月、84頁)

3. 論文 「教科『情報』新設への疑問」
(日本高等学校教職員組合編『青年にたしかな学力とゆたかな人格を――新学習指導要領批判と教育課程づくり』1999年10月、86～88頁)
4. 論文 「教科『情報』の免許状新設にともなう講習会と教職員組合運動」
(愛知大学文学会『文學論叢』第124輯、2001年7月20日、1～18頁)
5. 論文 「教科『情報』の新設にかかわる教育学――教員免許状の新設問題を中心に」
(『教育』2002年4月号、通巻第675号、28～34頁)

実習助手制度

1. 論文 「高校職業学科における実習助手制度の歴史――その形成過程を中心に――」
(愛知大学短期大学部『研究論集』第24号、2001年12月、21～44頁)
2. 口頭発表 「高等学校の理科助手制度に関する研究――職業学科担当実習助手との関連で」
(日本教育学会第61回大会、2002年8月30日、於福岡教育大学)
3. 講演記録 「実習教員制度の沿革と課題」
(日本教職員組合・日本高等学校教職員組合編『2002年度実習教員全国集会報告書』2003年1月31日、29～46頁)

インターンシップ

1. 口頭発表 「インターンシップの歴史的経験――初等・中等教育を中心に」
(技術教育研究会第27回公開研究会、2002年5月25日、於中野区立商工会館)
2. 論文 「インターンシップの歴史的経験――初等・中等教育を中心に」
(『技術と教育』第342号、2002年6月、1～3頁)
3. 論文 「日本におけるインターンシップ(現場実習)の諸類型――初等・中等教育を中心に」
(愛知大学短期大学部『研究論集』第25号、2002年12月、1～33頁)

教育研究全国集会

1. 論文 「技術・職業教育」
(1995年度教育研究全国集会実行委員会編『日本の民主教育96――1995年度教育研究全国集会報告書』1996年7月5日、労働旬報社130～137頁、隈部智雄、鈴木芳夫、向山玉雄と共著)
2. 論文 「技術・職業教育」
(日本教職員組合編『日本の教育』第45集、1996年7月15日 一ツ橋書房、224～240頁、田中喜美、幡野憲正と共著)
3. 論文 「全教などの教育研究全国集会の報告」
(『技術と教育』第279号、1997年3月、10～11頁)
4. 論文 「技術・職業教育」
(1996年度教育研究全国集会実行委員会編『日本の民主教育97――1996年度教

育研究全国集会報告集』1997年7月10日刊、労働旬報社、141～147頁、小林民憲、隈部智雄、鈴木芳夫、向山玉雄と共著)

5. 論文 「技術・職業教育」
(日本教職員組合編『日本の教育』第46集、1997年7月25日、一ツ橋書房、214～228頁。田中喜美、幡野憲正と共著)
6. 随想 「日教組第47次教研全国集会(於鹿児島)技術・職業教育分科会の報告」
(『技術と教育』第291号、1998年3月、11頁)
7. 論文 「技術・職業教育」
(日本教職員組合編『日本の教育』第47集、1998年7月28日、一ツ橋書房、208～211頁、田中喜美、幡野憲正と共著)
8. 論文 「日教組の教研全国集会の技術・職業教育分科会の様子」
(『技術と教育』第305号、1999年5月、13頁)
9. 論文 「技術・職業教育」
(日本教職員組合編『日本の教育』第48集、1999年8月2日、一ツ橋書房、206～211頁、田中喜美、長谷川雅康と共著)
10. 論文 「技術・職業教育」
(日本教職員組合編『日本の教育』第49集、2000年8月2日、一ツ橋書房、198～203頁、田中喜美、長谷川雅康と共著)
11. 論文 「技術・職業教育」
(2000年度教育研究全国集会実行委員会編『日本の民主教育2001・教科別——2000年度教育研究全国集会報告書』2001年7月1日、大月書店、165～173頁、小林民憲、隈部智雄、鈴木芳夫、向山玉雄と共著)
12. 論文 「技術・職業教育」
(日本教職員組合編『日本の教育』第50集、2001年8月1日、一ツ橋書房、213～230頁、田中喜美、長谷川雅康と共著)

近代化遺産調査、博物館など

1. 論文 「岐阜県の近代」
(岐阜県教育委員会『岐阜県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書』1996年3月、52～54頁)
2. 調査報告 『岐阜県重要文化財旧八百津発電所 保存修理事業報告書』
(平成10年1月、八百津町、八百津町教育委員会、(分担執筆)5～6、16、37頁)
3. 論文 「(博物館めぐり7) 下呂温泉合掌村、四国村」
(『技術と教育』第271号、1996年7月、9～10頁)
4. 論文 「(博物館めぐり8) 交通科学博物館、交通博物館」
(『技術と教育』第275号、1996年11月、11～12頁)
5. 論文 「(博物館めぐり9) 森林の博物館、鋸の博物館、大工道具の博物館」
(『技術と教育』第277号、1997年1月、12～13頁)

6. 口頭発表 「産業遺産の評価についてー旧八百津発電所を例に」
 (産業考古学会1998年度全国大会(両毛・足尾)『研究発表講演論文集』1998年11月14日、38~41頁、於サンレイク草木)(高橋伊佐夫と共同発表、ただし佐々木は病後のため欠席)
7. 書評 中部産業遺産研究会『ものづくり再発見ー中部の産業遺産探訪』
 (『技術教育研究』第56号、2000年7月、75~76頁)

高等教育機関の入学選抜、学校間の接続関係など

1. 論文 「東京高等商業学校の入学選抜の歴史」
 (愛知大学短期大学部『研究論集』第20号、1997年12月、43~81頁)
2. 論文 「学校間の『接続関係』に関する覚書ー近代日本の高等教育における入学選抜制度史研究序説」
 (愛知大学文學會『文學論叢』第116輯、1998年2月、273~290頁)
3. 論文 「東京女子高等師範学校の入学選抜制度の歴史」
 (愛知大学短期大学部『研究論集』第21号、1998年12月、29~60頁)
4. 論文 「新学制の最初の大学入学選抜における高校ー大学の接続関係について」
 (愛知大学短期大学部『研究論集』第22号、1999年12月、37~61頁)
5. 論文 「山口高等商業学校の入学選抜制度の歴史」
 (愛知大学文學會『文學論叢』第122輯、平成12(2000)年7月、180~194頁)
6. 論文 「東亜同文書院への府県費による派遣生の選抜制度ー愛知県の場合」
 (愛知大学文學會『文學論叢』第126輯、2002年7月20日、1~18頁)
7. 講演 「海を越えて学びに行った人びとー東亜同文書院入学選抜群像」
 (愛知大学文學會主催講演会、2002年12月12日)
8. 論文 「海を越えて学びに行った若者たちー東亜同文書院入学選抜群像」
 (『東亜同文書院記念報』Vol.11 2003年3月、4~30頁)

連載「技術教育研究会と私の歩み」

1. 論文 「技術教育研究会と私の歩み①」
 (『技術と教育』第295号、1998年7月、11~12頁)
2. 論文 「技術教育研究会と私の歩み②」
 (『技術と教育』第298号、1998年10月、12~13頁)
3. 論文 「技術教育研究会と私の歩み③」
 (『技術と教育』第301号、1999年1月、12~13頁)
4. 論文 「技術教育研究会と私の歩み④」
 (『技術と教育』第306号、1999年6月、11~12頁)
5. 論文 「技術教育研究会と私の歩み⑤」
 (『技術と教育』第307号、1999年7月、9~10頁)
6. 論文 「技術教育研究会と私の歩み⑥」
 (『技術と教育』第310号、1999年10月、11~12頁)

7. 論文 「技術教育研究会と私の歩み⑦」
（『技術と教育』第311号、1999年11月、11～12頁）
8. 論文 「技術教育研究会と私の歩み⑧」
（『技術と教育』第317号、2000年5月、11～12頁）
9. 論文 「技術教育研究会と私の歩み⑨」
（『技術と教育』第319号、2000年7月、12～13頁）
10. 論文 「技術教育研究会と私の歩み⑩」
（『技術と教育』第322号、2000年10月、9～10頁）
11. 論文 「技術教育研究会と私の歩み⑪」
（『技術と教育』第325号、2001年1月、12～14頁）
12. 論文 「技術教育研究会と私の歩み⑫」
（『技術と教育』第332号、2001年8月、13～14頁）
13. 論文 「技術教育研究会と私の歩み⑬」
（『技術と教育』第334号、2001年10月、11～12頁）
14. 論文 「技術教育研究会と私の歩み⑭」
（『技術と教育』第338号、2002年2月、12～13頁）
15. 論文 「技術教育研究会と私の歩み⑮」
（『技術と教育』第339号、2002年3月、12～13頁）
16. 論文 「技術教育研究会と私の歩み⑯」
（『技術と教育』第343号、2002年7月、11～12頁）
17. 論文 「技術教育研究会と私の歩み⑰」
（『技術と教育』第351号、2003年3月、12～13頁）

追悼文

1. 追悼文 「不肖の弟子からみた先生」
（『かわりびょうぶー長谷川淳先生追悼記念誌』1996年1月、86～89頁）
2. 追悼文 「加藤博雄氏を悼む」
（『産業遺産研究』第3号、1996年6月、82～84頁）
3. 追悼文 「飯田賢一先生のご逝去を悼む」
（『技術と教育』第284号、1997年8月、14頁）
4. 追悼文 「清原道壽先生を悼む」
（『技術と教育』第344号、2002年8月、14頁）
5. 追悼文 「清原道壽先生を偲ぶー現場の教師から学んだ先生」
（『技術教室』第603号、2002年10月、51頁）
6. 追悼文 「民間教育研究運動をこよなく愛した反骨の学者ー山住正巳さんのご逝去を悼む」
（『技術と教育』第号、2003年2月、13頁）

保育所関係

1. 随 想 「初心を忘れずにー創立20周年記念式典にあたって」
(社会福祉法人緑の丘福祉会『あしたに向かって』1997年3月、4～7頁)
2. 随 想 「ご挨拶 緑の丘福祉会設立の精神について」
(緑の丘福祉会法人ニュース『はじめのいつぼ』第1号、1999年5月28日、1頁)
3. 口頭発表 「大学関係保育所の広がりをもとめて」
(日本保育学会第54回大会におけるポスターセッション、2001年5月26日、於仙台、尚絅女学院短期大学、森山日出夫と共同発表。)
4. 科研費の報告書 「日本における大学関係保育所の広がり」
(平成12～14年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(1))研究費報告書『大学関係保育所にみる異文化接触と留学生の子育て支援方策に関する基礎的研究』研究代表者森山日出夫、2003年3月)

随想など

1. 随 想 「高等専門学校研究を期待する」
(『高等専門学校の教育と研究』第1巻第1号、1996年1月、1頁)
2. 随 想 「民主主義の砦ー私にとっての労働組合(自己紹介にかえて)」
(愛知大学教職員組合編『広場』再刊10号(通巻83号)、1996年10月14日、39～40頁)
3. 小 論 「新学制50周年と技術・職業教育」
(『技術と教育』第280号、1997年4月、10～11頁)
4. エッセイ 「手労研発足の背景ー『子どもの遊びと手の労働研究』300号によせて」
(『子どもの遊びと手の労働研究』第300号、1998年8月、19～20頁)
5. エッセイ 「代表委員退任にあたってー挨拶談義ー」
(『技術と教育』第297号、1998年9月、2頁)
6. 随 想 「『技術と教育』第300号によせて」
(『技術と教育』第300号、1998年12月、3頁)
7. エッセイ 「教育史学会第42回大会の感想」
(教育史学会『会報』No. 84、1998年12月22日、11頁)
8. 随 想 「技術教育研究会の創立40周年を喜び、いっそうの発展に期待する」
(『技術と教育』第312号、1999年12月、6頁)
9. 随 想 「歴史を生きる」
(長野県高等学校教職員組合編『教育の広場ながの』No.47、1頁、2001年12月)
10. 随 想 「えひめ丸事件ー高校職業教育の観点から」
(『技術と教育』第337号、2002年1月、11～13頁)
11. 随 想 「働き、学び、むさぼるように読んだーあのころ読んだ本」
(『学生新聞』2002年6月8日)

終わり